

平成28年度 大阪府立難波支援学校

第二回学校協議会 記録

1. 日時 平成28年12月13日(火) 17:00～18:40

2. 場所 大阪府立難波支援学校 校長室

3. 次第

(1) 開会(校長挨拶、会長挨拶)

(2) 協議

①学校経営計画および学校評価等について

②第二回保護者説明会等の状況について

(3) 閉会(校長挨拶、会長挨拶)

4. 協議内容

①学校経営計画 進捗状況及び課題についての委員からの主な意見

・なにわ高等支援学校と難波支援が併置されていることから、教育のビジョンを示す強いリーダーシップを校長にとってもらいたい。

・難波支援となにわ高等支援が初めて共催した「なんば・なにわ祭※」では難波支援は舞台発表、なにわ高等支援は模擬店だったが、それぞれの内容も広げていくことも必要ではないか。

・卒業後の就労等の支援をして、学校と就労支援では卒業後を見据え、在学中にいかにより円滑な引き継ぎをしていくかが重要だと伝えている。もっと学校と情報共有をしていきたい。

・学校ホームページの活用により代表される「開かれた学校」を更に積極的に進めてほしい。近隣の区で自立支援協議会への参加を求める声も聞く。地域の人たちの中には先生と情報交換したいと思っている人も多い。

②第二回保護者説明会についての意見からの主な意見

・体罰事案があり2回の保護者説明会がもたれ、先日の第二回保護者説明会に出席したが、改善の手ごたえを感じた。

・子どもや保護者の心情を思うと、とてもつらい出来事だった。

これからの教育活動では子どもたちに寄り添うことを大事にすることを願う。

※難波支援学校は楽器演奏や演劇などの舞台発表。なにわ高等支援学校は喫茶・野菜販売・自転車清掃・マッサージなどを模擬店形式で販売中心の活動。両校の交流として地元の特徴を生かした太鼓演奏を一緒に練習しその成果を講堂で披露しました。